

様式 C - 7 - 1

平成 20 年度科学研究費補助金実績報告書 (研究実績報告書)

1. 機関番号 3 2 6 9 2 2. 研究機関名 東京工科大学
3. 研究種目名 基盤研究 (C) 4. 研究期間 平成 20 年度 ~ 平成 22 年度
5. 課題番号 2 0 5 2 0 5 2 9
6. 研究課題名 リメディアルの視点から 大学生の英語学習意欲減退調査と学習者自律
7. 研究代表者 へのニーズ分析

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
0 0 1 8 4 9 3 7	ウエダ, マミ 植田, 麻実	コンピュータサイエンス学部	准教授

8. 研究分担者 (所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
9 0 3 3 1 5 0 3	イシツカ, ミカ 石塚, 美佳	コンピュータサイエンス学部	准教授
9 0 4 0 9 8 0 5	アガワ, トシエ 阿川, 敏恵	恵泉女学園大学・人文学部	講師
2 0 0 5 4 8 3 5	オクダ, サチコ 奥田, 祥子	大東文化大学・外国語学部	教授
4 0 4 5 4 1 8 6	カレイラマツザキ, ジュンコ カレイラ松崎, 順子	東京未来大学・こども心理学部	講師
3 0 4 6 8 6 2 3	アベ, エミカ 阿部, 恵美佳	大東文化大学・外国語学部	非常勤講師

9. 研究実績の概要

下欄には、当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、交付申請書に記載した「研究の目的」、「研究実施計画」に照らし、600字～800字で、できるだけ分かりやすく記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

平成 20 年度に実施した研究の成果について：『具体的な内容』は、平成 20 年度は研究実施計画 3 年間の最初の年度であったため、その目的は、平成 21 年度実施予定の本調査へ向けての予備調査を行い本調査で使用する学生への英語の学習意欲喪失に関するアンケートの作成の基本を作ることであった。3 大学 122 名の大学生に対して、本研究メンバーによって、demotivation の原因、あるいは遠因と思われる事柄を「項目プール」と呼ばれる手法により集め (Dörnyei, 2003)、それを 44 項目からなる demotivation に関する項目と、25 項目からなる、学生のニーズを分析するための項目とにわけ、4 件法 (すごく当てはまる、まあ当てはまる、あまり当てはまらない、全然当てはまらない) で答えてもらった。アンケート裏面には、付け足すべき項目や意見も述べてもらった。加えて、1 大学 30 名の学生に、自由記述による中学入学以前から大学入学までの英語学習の動機に関する経験を書いてもらった。それぞれの結果を、122 名の 4 件法による結果の分析は因子分析および項目間の相関関係を出し、自由記述に関しては学生から挙げられたものから選択し本調査のアンケート案に反映した。

『意義・重要性』に関しては、希少な先行文献を丹念にあたってみることで、demotivation の調査が学生の自由記述によって項目づくりが行われたケースが多かったことから、教師による授業の経験からも項目を作ることの是非について議論する機会を得た。本調査では、大学生が教室以外で自律的に学習している度合いと英語学習意欲との関係や、動機を失わずにいる学生と失った経験のある学生への自由記述も盛り込むことが決まった。これらの項目と、demotivation を引き起こすと思われる様々な要因との関連性を調べる準備を整えたことは予備調査の意義といえる。

参考文献
Dörnyei, Z. (2003). *Questionnaires in Second Language Research: Construction, Administration, and Processing*. Lawrence Erlbaum Associates.

10. キーワード

- (1) 学習意欲喪失 (demotivation) (2) 動機づけ (motivation) (3) 学習者の自律
(4) ニーズ・アナリシス (5) 英語 (6) 大学生 (7) リメディアル

11. 研究発表（平成20年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計（2）件

著者名	論文標題						
Abe, E.& Ueda, M.	Developing self-efficacy through reflection.						
雑誌名	査読の有無	巻	発行年		最初と最後の頁		
JALT 2007 Conference Proceedings	有り		2	0	0	8	179-187

著者名	論文標題						
Sugino, T., Abe, E., & Chaikul, R.	Autonomous learning for learner development:Alternative Approach to ELT teaching.						
雑誌名	査読の有無	巻	発行年		最初と最後の頁		
Boei Daigakko Kiyo	有り	98	2	0	0	8	113-149

〔学会発表〕計（1）件

発表者名	発表標題		
植田 麻実	英語学習における学習意欲減退 (demotivation) の社会的要因		
学会等名	発表年月日	発表場所	
日本実用英語学会第33回年次大会	2008年9月21日	白鷗大学	

〔図書〕 計（0）件

著者名	出版社		
書名	発行年	総ページ数	

12. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計（0）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕 計（0）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別

13. 備考

研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。

--